

森田療法100年 森田ピアスクエア10年

森田正馬が1919年4月に自宅で入院治療を行ったのが、森田療法の始まりと言われています。
森田ピアスクエアは、2009年2月に第一回読書会を開催し、活動を開始しました。

第20回 森田ピアスクエア 公開セミナー

講演1 森田ピアスクエアが目指す世界
～純な心と自然な生き方、グループで歩んだ10年～
竹林耕司 森田ピアスクエア代表

講演2 “いのち”をめぐる森田療法
～日々の生活・家族・老い・人生～
渡邊直樹 メンタルホスピタルかまくら山 名誉院長

日時 2019年2月2日(土)
13時45分～17時
受付 13時30分～
場所 北とぴあ 9F 901会議室
JR/地下鉄 王子駅下車3分

定員 50名
※定員制のため、必ず申し込みをお願いします。
参加費 1,500円
(スクエアメンバー1,000円)
主催 森田ピアスクエア

森田ピアスクエアの公開セミナーは、真摯に森田療法を学ぼうとする方、受容と共感の姿勢で学習やグループ活動を進めようとする方なら、どなたでもご参加頂けます。

申し込み先

- ・HP: <http://home.a01.itscom.net/mpsquare/>
- ・Mail: morita-square@s09.itscom.net
- ・Phone: 070-5057-2538

※終了後、懇親会もありますので、参加の有無も併せてご連絡ください。



森田ピアスクエア

検索

講師紹介 渡邊直樹先生

1963年から5年間、ドイツ・ハイデルベルグ大学で社会学を学び、マギスター（修士）資格を取得。
1982年弘前大学医学部卒業、同年6月より聖マリアンナ医科大学精神療法センター勤務、2003年に定年退職後、聖マリアンナ医科大学客員教授。
2003年青森県立精神保健福祉センター精神保健医長、2004年同所長。
2008年関西国際大学人間科学部教授。
2012年浅田病院に勤務し思春期児童の治療に取り組み、2016年からメンタルホスピタルかまくら山の名誉院長に就任。



主な著書：(訳書) アヴェ・ラルマン：「バウムテスト」 川島書店 2002年 本橋豊, 渡邊直樹。
(編著)「自殺は予防できる」すぴか書房 2005年 末松弘行, 渡邊直樹。
(編著)「チーム医療としての摂食障害診療」 診断と治療社 2009年 清水將之, (監修) 高宮静男, 渡邊直樹。
(編著)「青春期精神医学」 診断と治療社 2010年 野村佳絵子, 渡邊直樹。
つなぐつながる摂食障害 法律の文化社 2012年。 など。

学会：日本森田療法学会 理事、日本児童青年精神医学会 専門医、日本精神神経学会 専門医など。産業医。
主な臨床・研究活動としては摂食障害、パーソナリティ障害の治療、1997年からは秋田県由利町における自殺予防活動を住民とともにを行い、2003年からは青森県でも同様の活動を行った。
2017年 日本森田療法学会 学会賞（森田正馬賞）受賞